

令和6年10月18日

保護者・地域の皆様

福津市立福間小学校

コミュニティ・スクール福間

校長 安河内 友美

令和6年度 全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査の結果について

本年度の6年生対象の全国学力・学習状況調査、及び、5年生対象の福岡県学力調査の結果をお知らせします。

1 全国学力・学習状況調査（第6学年）

■実施時期・内容等

- 実施日 令和6年4月18日（木）
- 内容 ・教科に関する調査（国語・算数）
・生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

■調査の結果

【国語・算数】

- 平均正答率を比較すると、本校は、国語・算数ともに全国や県をやや上回っています。
- 昨年度、一昨年度も、国語・算数共に全国・福岡県を超える正答率を維持しており、学力の安定が見られます。

【児童質問紙】

- 特に「将来の夢や目標をもっている」「自分にはよいところがあると思う」の項目での本校の肯定的回答は福岡県や全国の結果を上回っており、自己肯定感の高さがみられます。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の項目での肯定的回答は、福岡県や全国の結果をやや下回っており、地域・社会の一員としての貢献意欲について課題が見られます。

2 福岡県学力調査（第5学年）

■実施時期・内容等

- 実施日 令和6年6月18日（火）
- 内容 教科に関する調査（国語・算数）

■調査の結果

【国語・算数】

- 国語・算数共に、「知識・技能」「思考・判断・表現」どちらの観点でも、福岡県の平均正答率をやや上回っています。
- 特に国語の記述式の正答率が高く、根拠に基づいて文章を正しく理解しまとめる力の定着が見られます。

3 今後の学力向上の方策

① 「わかる」授業・「伸びを実感する」授業づくり

- 学習の振り返りを重視し、児童の理解の状況やわかり方を基盤にした授業づくりに努めます。
- どの教科の授業においても、根拠を基に自分の考えをつくり交流する時間を仕組み、今後も「書く力」「考えを整理する力」「自分の考えを表現する力」を伸ばします。
- 1人1台タブレット等、ICT機器を効果的に活用しながら、基礎的な学力の定着を図るとともに、児童の主体的・対話的で豊かな学びを支える授業づくりを推進します。
- 教師の学び合いも重視し、課題に応じた職員研修を計画的に実施しながら、授業力の向上を図ります。

② 周囲との関わりを大切にした場づくり

- 家庭・地域と連携し、福津の「ひと」「もの」「こと」との出会いを積極的に仕組み、児童が「自分ごと」として主体的に地域に関わろうとする姿勢を育て、地域の一員としての自己有用感を育てます。
- 学級活動や児童会活動を全学級で推進し、児童一人ひとりが輝く場や児童一人ひとりが大切にされる風土を大切にすることにより、学校が児童にとっての安心で落ち着く場所となるよう努めます。

この学力調査の結果は、全ての学力を示すものでなく、あくまでも学力の特定の一部です。